

トラスト9号地 (狭山市)



モニタリングの勧め

NHK朝の連続ドラマ「らんまん」は植物学者・牧野富太郎がモデルです。牧野博士は、全国各地で植物採集を行って膨大な植物標本を作成し、精緻な植物画を残したほか、1,500種以上の新種・新品種を命名するなど植物分類学に大きく貢献しました。

一方、生物分類では、新種を記載した際の基準となる標本をタイプ標本といい、通常は博物館で大事に保存されるべきですが、牧野博士のはタイプ標本でさえも、新聞紙にはさんだままで、植物採集の詳しい期日、場所等が記載されていないもの、複数あってタイプ標本が不明なものまであります。こうした未整理の牧野標本を生かすべく、今も牧野博士の日記や手紙などを元に行動録を整理して、期日や場所を特定していくという気が遠くなるような作業が行われているとのこと。

データをきちんと記録しておくことは、学术论文とまでいかなくとも、緑地の保全作業などでも重要なことです。「最近、温暖化のせいかわさびが減って、△△が増えてきたよね。」という話になっても、最近とは何年前からなのか、どこの△△が減ったのか、△△は似た種類があるが本当に△△なのか、など記憶や個人個人の認識が異なってきます。データを記録しておけば、もっと草刈りをすべきか、間伐割合を増やした方がいいのかなどの判断に使えるかも知れません。

私たちは、飯能市の天覧山・多峯主山緑地の保全のため、

環境省のモニタリングサイト1000調査に参加しています。これは、全国1000箇所です。100年間生物の推移を記録する調査で、2008年から3期15年、植物、チョウ、鳥、ほ乳類、カヤネズミ、ホタル、カエルの調査を行い、現在も継続しています。

天覧山・多峯主山の緑地保全には複数の企業・行政・団体が関与していて、保全方針の調整にはモニタリング調査が欠かせないと考えたため、調査に参加しました。全国共通のマニュアルがあるため、半ば素人でも慣れば調査可能ですし、他地域との比較が可能となるのが大きなメリットです。毎年調査結果を関係者に報告・共有し、保全作業に活用しており、例えばカエルが減少した際にアライグマを駆除することを決断しました。このような保全管理の手法を順応的管理と言い、長期的な保全管理には欠かせません。



カエル調査講習の様子

こんな調査はできないという方は、本誌第132号で紹介した鳥の初鳴きや植物の開花等を調査する「生物季節モニタリング」はいかがですか。まずは記録することをお勧めします。

(公財) さいたま緑のトラスト協会

理事 大石 章

(NPO 法人天覧山・多峯主山の自然を守る会副代表)

イベントのお知らせ

トラス
11
号地

秋のトンボ観察会

9月23日(土) 9時30分～12時

集合場所 蓮田市環境学習館(蓮田市大字黒浜1061)

協会員 無料 一般 200円 20人先着順 締切9月19日(火)



▶ 黒浜沼とその周辺は、9科33種のトンボが確認できるトンボの宝庫です。小さなアジイトンボから大型のウチワヤンマまで様々なトンボを観察することができます。沼周辺を散策しながらトンボを探してみませんか。散策の後は、採取したトンボや、水辺の環境についてのお話があります。子どもから大人まで楽しめる観察会なので、是非ご参加ください。

トラス
2
号地

秋の自然観察会

10月7日(土) 9時30分～14時30分

集合場所 西武狭山線西武球場前駅改札口

協会員 無料 一般 300円 30人申込順 締切10月3日(火)

▶【コース】西武球場前駅～トトロの森48・15・3号地～狭山丘陵・雑魚入樹林地(トラス2号地)～トトロの森1号地～狭山湖(昼食予定)～山口観音～西武球場前駅(解散)
▶【特記事項】弁当持参



【対象】対象年齢小学生以上。小学生は保護者が同伴してください。

【持ち物・服装】筆記用具、飲み物、長袖、長ズボン、活動しやすい服装・靴でご参加ください。尚、トラス2号地の秋の自然観察会は、双眼鏡や図鑑等の観察用具があればご用意下さい。

【申込】トラス協会の事務局まで Web 又はお電話にてお申し込みください。

申し込みはこちら▶

各イベント等の詳しい説明は、ホームページをご覧ください。



緑のボランティアセミナー 参加者募集

緑のトラスト運動に必要な知識や技能を得るための研修を行います。これからボランティアスタッフとして活動してみたい方はもちろん、既に活動中の方のご参加もお待ちしています。

研修の特色

- ◆ 県内のトラスト保全地をフィールドにした実習
座学のみでなく、フィールド実習の機会を多く取り入れた研修内容で、より実践的な学びにつながります。
- ◆ 保全活動経験が豊富な講師陣
現場の第一線で活躍している講師陣が研修を担当。研究者による講義もあります。
- ◆ 野外活動の基礎力
野外活動におけるリスクを洗い出し、その対策をシミュレートし、リスク対応を学びます。また、日常生活から災害時などにも役立つ、応急手当、AEDの使い方を習得します。



募集要領

対象：18歳以上
研修修了後にボランティアスタッフとして協会の活動に参加できる方
日程：9月2日(土)～11月11日(土)の期間のうち6日間
修了認定基準：原則として必修科目を含め、全課程を受講すること
定員：30人(申込順)
受講料：一般 7,500円(会費1年分、保険料を含む) / 協会員 6,000円
申込：電話または協会ホームページ(<http://saitama-greenerytrust.com>)から申し込み
締切：8月25日(金)



研修	日時	開催場所
1	9/2(土) 9:45～15:40	埼玉会館(さいたま市浦和区)
2	9/16(土) 9:15～15:35	トラス5号地(宮代町)
3	9/30(土) 9:15～15:40	トラス8号地(北本市)
4	10/14(土) 10:00～15:40	埼玉教育会館(さいたま市浦和区)
5	10/28(土) 10:00～16:00	トラス3号地(嵐山町)
6	11/11(土) 9:45～15:40	埼玉会館(さいたま市浦和区)

第6回の研修(講演及び講義)は、会員及び会員関係者の方ならなどたでもご参加いただけます。

自然体験活動指導者(NEALリーダー)の資格を取得できます



体験の機会と場をつくる
魅力的な活動のあるプログラムをつくる
楽しく安全に活動を指導する
それか、自然体験活動指導者です

全国体験活動指導者認定委員会では、自然体験活動に関する指導者の養成を行っています。養成された指導者は「自然体験活動指導者(NEAL:ニール)」として当委員会から資格認定されます。

※NEALリーダー登録希望者は、登録費として別途5,000円(学生3,000円)が必要です。

※NEALリーダーは永年登録です。(更新はありません)

詳しくは、全国体験活動指導者認定委員会 自然体験活動部会のホームページをご覧ください。

<http://neal.gr.jp>



保全地紀行 夏

加治丘陵・唐沢流域樹林地

深山幽谷を思わせる景観は
秩父山地に続いている！

人口15万人の入間市に位置する加地丘陵、その中に私達の活動する6号地があります。秩父山地から繋がる丘陵の為か人が生活する直ぐ裏山にもかかわらず、多くの動植物が生息します。ヤマザクラ、ヤマツツジ、コアジサイ、キンラン、ササバギンラン等季節に応じて開花し、オオタカ、ニホンカモシカ、ムササビ、サンコウチョウ等は運が良ければ見ることが出来ます。春から夏にかけての景観は薄緑の芽吹きから始まり、

段々深緑に野山が変化する様は、日々自然も生きているなど実感が出来嬉しく思います。保全活動は毎月第1、3の土曜日午前中です。安全に、無理しない。そして楽しくをモットーに、下草刈り、木の伐採、沢ゴミの処理、自然観察、消毒（キクイムシ対策）。自分達にできる簡単な橋の修復等。是非一度自然観察で足を運んでください。

6号地 ボランティアスタッフ
古賀 勇治



トラスト 昆虫 14

カメムシ目セミ科

アブラゼミ (Graptopsaltria nigrofuscata)



ツツミ 塘 久夫

5号地ボランティアスタッフ。小さい時から昆虫好きで野山を駆け回っていました。今は小さい子供たちと一緒にトラスト地で昆虫を追いかけています。

夏休みに入る頃からジーゾツと鳴き始め、夏の間じゅううるさいほどの音量で鳴き続け、真夏の風物詩にもなっているのがアブラゼミです。アブラゼミのことを知らない人はいないほどよく知られたセミですね。でもアブラゼミには眼がいくつあるの知っていますか？実は大きな複眼が2つある他に、ルビーのようなきれいな赤色をした小さな目が3つあって全部で5つもあります。この3つの小さな眼は単眼と呼ばれていて、光の強さを感じて飛ぶ方向を知るために役立っているそうです。今度アブラゼミを捕まえる機会があったらじっくり観察してみてください。昆虫は目が2つしかないものはむしろ少数派で、たいていは複数の単眼も持っています。トンボも目は全部で5つ、ハチも5つあります。

さてセミは長い年月を幼虫で地面の中で過ごし、一生の最後の晴れ舞台を大空で過ごすために夜に羽化が行われます。地中から這い出してきた幼虫は樹の葉などに止まり茶色の背中が割れ、中から透き通った青緑色を帯びた翅が出てきます。最後に軽業師のようにくると回転して頭を上に出します。これから夏休みにかけてトラスト保全地でも夜間観察会などが開かれると思いますので是非、セミの羽化の感動のドラマを見て下さい。



アブラゼミの眼 (拡大)



羽化直後のアブラゼミ



緑のトラスト募金始まる



ふるさと埼玉の優れた自然や貴重な歴史的環境を、県民の皆様からの寄附等により取得し、県民共有の財産として末永く保全する「緑のトラスト運動」を広く周知するため「緑のトラスト募金」を実施するものです。

これまでたくさんの方々からの寄附をいただき、緑のトラスト保全地も14か所まで増えました。みなさんの応援が埼玉の自然を守ることに繋がります。

ご寄附くださる方には、所定の申込用紙をお送りします。

またウェブからもお申し込みできます。 <http://saitama-greenerytrust.com/join/donation/fund>



ふるさと埼玉の美しい自然を次世代に引き継ぐため

ボランティア活動を始めませんか!?

—トラスト協会会員としてボランティア活動をするメリットは?—

1 活動に必要な知識や技術を学べます。

ボランティア活動を行うために必要な知識や技能を学べる研修や講習会等を開催しています。

各保全地のボランティアスタッフも親切に教えてくれます!

〈緑のボランティアセミナー〉…トラスト保全地や里山に関する講義、野外での自然観察実習、樹木伐採等の体験、活動時の安全管理方法等、活動していくために必要な知識及び技術が習得できます。

一緒に活動する仲間との交流も楽しめます!

〈保全活動技能研修〉…保全活動に必要な技能を習得できます。

①刈払機取扱作業安全衛生教育研修 (受講料協会負担)

②チェーンソー作業従事者特別教育講習 (受講料協会負担)

※継続的な保全活動参加等の受講条件があります。

2 体験活動も受け入れています。(特に法人会員の皆様)

各トラスト保全地では、体験活動の受け入れも行っています。下記のトラスト事務局まで、お気軽にお問い合わせください!

3 ボランティア保険の加入、必要な機器や資材等の負担も行います!

ボランティアスタッフ登録を行って活動いただく場合は、ボランティア保険への加入も行います。

また活動に必要な機器や資材等につきましては、協会が負担します。



ご報告

法人会員様と協会ボランティア合同の保全活動を実施

伊藤園様

日時：令和5年4月8日(土)
場所：トラスト5号地(宮代町)

「埼玉県緑の保全活動」として、一般募集者様に加え社員様とボランティアスタッフ合同の保全活動が実施されました。竹の間伐・下草刈り・落ち葉掃きなどの作業と自然観察の後に、隣接する新しい村の集会所にて講師(ティーテイスター)による「おいしいお茶のいれ方教室」と盛りだくさんの内容でした。



KDDI北関東総支社様

日時：令和5年5月21日(日)
場所：トラスト13号地(伊奈町)

社員様参加のエコ活動(保全活動)が実施されました。竹の間伐・下草刈りなど、ボランティアスタッフと協業のもと行われました。13号地は「無線山・KDDIの森」の名の通りゆかりの地であり、今年度もあと2回(計3回)の活動が計画されております。



さいたま緑のトラスト基金への大口寄附者 (10万円以上、令和5年3月から5月)

株式会社 埼玉りそな銀行
一般社団法人 所沢法人会
公益社団法人 行田法人会
一般社団法人 埼玉県造園業協会
公益社団法人 川越法人会
株式会社 武蔵野銀行
株式会社 伊藤園
依田 俊也
埼玉県電気工事工業組合

一般社団法人 埼玉県猟友会
株式会社 キャステック
公益社団法人 春日部法人会
一般社団法人 埼玉県労働者福祉協議会
株式会社 総合地質コンサルタント
辰巳設備工業株式会社
株式会社 テレビ埼玉
埼玉ダンプ企業組合
深井電気株式会社

キャピタル・インターナショナル株式会社
吉松運輸株式会社
株式会社 ヤマトスタッフ
大熊 泰雄
秋山 もえ
秋山 文和
他匿名希望1法人

【敬称略】

さいたま緑のトラスト協会への大口寄附者 (5万円以上、令和5年3月から5月)

全国大陶器市振興組合

【敬称略】

新しく会員になられた方々 (令和5年3月から5月)

【個人】7人(うち未成年5人)

【敬称略】

【家族】1家族(3人)

【敬称略】

【敬称略】

<会員数(5月末現在)> 1,423人・団体



公益財団法人 さいたま緑のトラスト協会

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-12-9 埼玉県農林会館内

電話 048(824)3661 ファックス 048(832)0292

ホームページ <http://www.saitama-greenerytrust.com>

メール main@saitama-greenerytrust.com

当協会に御寄附をいただいた方については、税額控除の特例を受けられます。

詳しくはHP又は税務署へお尋ねください。

トラスト運動に御支援いただきありがとうございます。

会費年額

個人	大人	1人	1,500円
	小・中・高校生	1人	1,000円
家族	永年(一括納入)	1人	15,000円
		1家族	3,000円
法人		1口	10,000円

